

必須記載事項

基礎情報	登録情報記載月	2025年3月
	登録番号	19-3
	地域	近畿 京都府
	施設名	京都市立病院
	活動の概要	2018年8月発足して以降、現在までに123件のコンサルテーション・母性）・看護師（看護管理者及び各種認定含む）・薬剤師・としている。また紹介元病院や往診医、訪問看護や福祉施設など係者を一同に参集し、患者や家族の最善を対話する場を設定して
	活動の特徴	サルタント（法律・医療倫理の専門家）を招聘して組織的な事例多職種からの相談依頼を奨励しており、依頼受領後、ECTは相談を整理することを支援した上で、倫理コンサルテーション申請書し、相談事例の当事者として、事例検討会に参集することが必要不可欠と考え地域の医療・福祉支援者（訪問医・看護師・社会福情報を得られるよう参加を打診し、事例検討会の日時や場所の提供される医療の患者に対する価値に関して意見を出し合う場と
	活動の広がり	イトボードを用いながら意見を可視化している。また電子カルテかった関係者にもカンファレンスの内容が共有できるようにして紹介元病院や往診医、訪問看護や福祉施設など医療の前方後方構し、患者や家族の最善を対話する場を設定している。特に患者の会福祉士等や時には搬送にかかわる救急隊員からも情報を得られ
	協力や支援の可否	ライン研修や専門医共通講習については、周辺施設にも参加を募 可能と考える。院内での倫理コンサルテーションチームの立ち上務、忠実義務）を交わして、実施していくことが可能です。
	チーム名	臨床倫理コンサルテーションチーム
	連絡担当者名E-mail	<a href="mailto:inami705@gmail.com">下新原直子 inami705@gmail.com</a>
備考欄		

記載項目

施設概要	施設認定（病院機能評価）		
	病床数	548床	
	医師数	202人	
	看護師数	517人	
医師数	常勤の専従		
	常勤の専任		
	常勤の兼任		4
	非常勤		

	臨床倫理認定士 修了者	2
	臨床倫理認定士 上級修了者	2
看護師数	常勤の専従	
	常勤の専任	
	常勤の兼任	6
	非常勤	
	臨床倫理認定士 修了者	6
	臨床倫理認定士 上級修了者	6
薬剤師数	常勤の専従	
	常勤の専任	
	常勤の兼任	2
	非常勤	
	臨床倫理認定士 修了者	1
	臨床倫理認定士 上級修了者	1
MSW数	常勤の専従	
	常勤の専任	
	常勤の兼任	1
	非常勤	
	臨床倫理認定士 修了者	
	臨床倫理認定士 上級修了者	
事務数	常勤の専従	
	常勤の専任	
	常勤の兼任	
	非常勤	
	臨床倫理認定士 修了者	
	臨床倫理認定士 上級修了者	
(その他) : (Ex:リハビリ、栄養士、 心理師等)	常勤の専従	
	常勤の専任	
	常勤の兼任	
	非常勤	
	臨床倫理認定士 修了者	
	臨床倫理認定士 上級修了者	
(その他) : (Ex:リハビリ、栄養士、 心理師等)	常勤の専従	
	常勤の専任	
	常勤の兼任	
	非常勤	
	臨床倫理認定士 修了者	
	臨床倫理認定士 上級修了者	
外部コンサルタント	常勤/非常勤	1
	臨床倫理認定士 修了者	
	臨床倫理認定士 上級修了者	
コンサルテーション窓口	窓口部門	メンバー
コンサルテーション件数	(開始年度~2025年1月現在)	123
倫理カンファレンス件数	(開始年度~2025年1月現在)	121
	小児	4

チーム実績	区分（例）	成人（高齢者含む）	119
		がん（AIDS /HIV含む）	51
		非がん	72
		※ 上記以外にあれば挿入してください（追行可）	
	依頼内容（例）	積極的治療・侵襲的検査の拒否	22
		生命維持の差し控え／中止	51
		症状コントロール（せん妄／鎮静）	1
		堪え難い苦痛緩和のための鎮静	3
		医療資源の分配	6
		療養場所の選択	18
個人情報		2	
医療者への心理的支援		20	
	治療方針（拒否や生命維持以外）	17	
教育活動 （例）	指導医・専門医講習会	（～2025年1月現在）	6
	新規採用職員研修会	（～2025年1月現在）	6
	幹部・管理者研修会	（～2025年1月現在）	1
	認知症の人のガイドライン	（～2025年1月現在）	3
	ACP研修		4
	模擬カンファレンス		4
	※ 上記以外にあれば挿入してください（追行可）		
社会活動	地域との連携	地域合同カンファレンス／講師派遣等	17
備考	外部見学受け入れ		可

実績がある。ECTは6診療科医師・専門看護師（がMSWで構成され、相談者参加型による事例検討を基本医療の前方後方機関や地域・在宅支援者など院外の間いる。生命に直結する倫理問題に関しては、外部コン

検討の質を担保している。  
者に直接聞き取りを行いながら、相談者の相談内容の作成を依頼する。ECT内で事前に倫理課題を共有なメンバーを検討する。患者の生活環境の理解が（社士等）や時には搬送にかかわる救急隊員からも調整を行う。事例検討会では、多職種各々の観点でなるように倫理ファシリテーションを行い、ホワにカンファレンス記録として記載し参加できな

いる。  
機関や地域・在宅支援者など院外の関係者を一同に参集し生活環境の理解が不可欠と考え、訪問医・看護師・社士等）や時には搬送にかかわる救急隊員からも調整を行う。事例検討会では、多職種各々の観点でなるように倫理ファシリテーションを行い、ホワにカンファレンス記録として記載し参加できな

上げ支援、個別事例のご相談について、契約（守秘義

人  
人  
人  
人



